

2013年8月27日

東日本旅客鉄道株式会社

## 総合防災訓練の実施について

JR東日本では、8月30日からの「防災週間」を中心に、総合防災訓練を実施します。本社総合防災訓練では、震度7の大地震が発生したとの想定で、救助救命活動などの初動訓練を本社、支社、現業機関が連携して実施します。

訓練は以下の内容を中心に実施します。

- ・本社及び各支社等における対策本部の設置・運営訓練
- ・社員及びその家族の安否確認訓練
- ・各現業機関における実働訓練（救助救命訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練等）

自治体等と連携した訓練も実施します。

訓練は以下の要領で行います。

### 1 日 時

2013年8月30日（金）を中心とし、本社及び各支社にて設定

### 2 訓練の想定

本社及び東京、横浜、八王子、大宮、千葉（以下、東京圏）の各支社においては、対策本部の設置・運営訓練を行います。訓練は「7時00分に東京湾北部を震源とするM7.3（最大震度7）の地震が発生し、東京圏で全面的に運転中止となり、列車脱線や駅舎一部倒壊により多数の人的被害が生じている」という想定で行います。また、一部駅においては、首都圏の路線が広範囲で長時間にわたり運転中止となる地震発生を想定し、駅に滞留したお客さまの対応訓練等を行います。

東京圏以外の支社においては、各支社管内での大地震発生を想定した訓練を行います。

### 3 主な訓練内容

#### 本社、各支社対策本部の設置・運営訓練

- ・ 発災直後、本社対策本部を高崎支社に設置し、初動対応訓練を行います。
- ・ 本社対策本部に関わる社員は、本社ビルへの非常参集を行います。本社ビルの体制が整った段階で高崎支社に設置した対策本部を本社に引き継ぎます。その後、当日選定された限られた社員で対策本部運営訓練を行います。
- ・ 東京圏各支社対策本部に関わる社員は、各支社ビルに非常参集を行います。体制が整った段階で、支社対策本部を設置し、限られた社員での運営訓練を行います。
- ・ 運営訓練では、本社対策本部と支社対策本部との間で、衛星電話等の非常用通信設備をはじめとした多様な手段を使用して、被災状況の情報伝達や救助派遣指示等を行います。

#### 安否確認訓練

- ・ 全社員を対象とし、社員及びその家族の安否確認訓練を実施します。

#### 非常参集訓練

- ・ 本社、支社、現業機関の社員が、勤務箇所や最寄り駅等の予め定めた箇所へ非常参集を行います。

#### 救助救命等の実働訓練

- ・ 駅を中心とした現業機関においては、お客さまの避難誘導、救助救命、初期消火等の実働訓練を実施します。また、一部、自治体等と連携した訓練も実施します。

#### 駅前滞留者対応訓練

- ・ 駅に滞留したお客さまを指定避難場所等にご案内する訓練や、駅の安全を確認した後に駅の一時滞留場所に誘導する訓練を実施します。

### 4 主な訓練の実施箇所

各支社において、実働訓練を実施します。詳細は別紙をご参照ください。

## 2013年度総合防災訓練の主な実施箇所

支社	実施箇所	日時	参加数	訓練内容
東京	東京支社管内全般	8月30日(金) 7:00～13:00	約2,000人	東京湾北部を震源とする最大震度7の地震発生を想定し、対策本部の設置・運営、本社及び現場と連動した情報伝達訓練を行うほか、非常参集及び社員の安否確認訓練を実施します。
	新宿駅	8月30日(金) 10:00～11:00	約120人	新宿駅(JR東日本・小田急電鉄・京王電鉄)、百貨店(小田急・京王・ルミネ・ルミネエスト)構内事業各社及び新宿地下街等が合同で、地震により東口から火災が発生したと想定し、初期消火訓練を実施します。また東口が危険な状態を想定し、東口から西口1階に避難誘導訓練を実施し、西口1階で一時的滞留訓練を実施します。
	池袋駅	8月30日(金) 9:40～12:00	約250人	東京湾北部を震源とする最大震度7の地震が発生し、多数の負傷者、駅設備の倒壊及び火災等が発生したと想定し、駅社員によるお客さま誘導、警察・消防と連携した活動、一時滞留者対応の訓練を実施します。また、警察、消防、他社線及び構内店舗等と合同で対策本部設置・運営訓練を実施します。
横浜	横浜支社管内全般	8月30日(金) 7:00～13:00	約500人	東京湾北部を震源とする最大震度7の地震発生を想定し、対策本部の設置・運営、本社及び現場と連動した情報伝達訓練を行うほか、非常参集及び社員の安否確認訓練を実施します。
	茅ヶ崎駅	9月7日(土) 9:30～12:20	約200人	東京湾北部を震源とする最大震度7の地震により、駅舎崩壊、列車脱線並びに列車及びホーム上の店舗から火災が発生し、列車内、ホーム上に負傷者が発生したと想定し、茅ヶ崎市等の協力を得て駅社員、消防及び医師による応急救護訓練と一時滞在所への避難誘導訓練を実施します。また、駅構内に滞留したお客さまを自治体との協定施設へ避難誘導する訓練を実施します。
	町田駅、逗子駅、湯河原駅、武蔵小杉駅	8月25日(日) 8:30～11:30 等	各駅約60人	地震により、負傷者が発生したと想定し、駅社員による応急救護訓練と一時滞在所への避難誘導訓練を実施します。また、駅構内及び周辺に滞留したお客さまを自治体の協力を得て指定の避難施設に避難誘導する訓練を実施します。
八王子	八王子支社管内全般	8月30日(金) 7:00～13:00	約450人	東京湾北部を震源とする最大震度7の地震発生を想定し、対策本部の設置・運営、本社及び現場と連動した情報伝達訓練を行うほか、非常参集及び社員の安否確認訓練を実施します。
	各現業機関	8月30日(金) ～9月5日(木)	約200人	大地震により発生しうる被害を各職場で想定し、対応及び役割分担について議論・再確認を行う机上訓練・実働訓練を実施します。
大宮	大宮支社管内全般	8月30日(金) 7:00～13:00	約400人	東京湾北部を震源とする最大震度7の地震発生を想定した訓練を実施します。訓練参加者は、地震の体感、テレビ・ラジオ等の報道及びメール受信等により情報を得たこととし、段階的に参集した少人数の社員及び限られた設備のみで対策本部の設置・運営、本社及び現場と連動した情報伝達訓練を実施します。
	宇都宮駅 宇都宮運転所	8月30日(金) 9:30～12:00	約150人	宇都宮市を直下とする大地震が発生したと想定し、警察・消防、駅協会社員と連携した訓練を実施します。また、駅構内で火災が発生したと想定し、通報及び初期消火訓練、列車車内に閉じ込められたお客さまの救出救護訓練及び帰宅困難なお客さまの避難誘導訓練等を実施します。
高崎	高崎支社管内全般	8月30日(金) 7:00～11:30	約300人	関東平野北西部縁断層帯で最大震度6弱の地震が発生したと想定し、前橋地区指導センター社員、現業機関社員等の現地出動を行い、情報収集、運転再開に向けた点検等の訓練を実施します。また、非常参集訓練、情報提供訓練、安否確認訓練、衛星電話等の取扱い習熟訓練、防災備蓄品の確認訓練等を実施します。
水戸	水戸支社管内全般	8月30日(金) 7:00～12:00	約400人	茨城県沖を震源とする最大震度6弱の地震により、広範囲にわたる鉄道設備被害、多数の駅舎等の被害が発生したと想定し、安否確認、非常参集、参集人数の報告、各対策本部間の情報連携訓練を実施します。また、各対策本部の初動体制、その後の運営体制を確立する訓練を実施します。
	土浦地区	8月30日(金) 7:00～12:00	約70人	土浦駅から指定された避難箇所までの避難誘導訓練、駅間に停車した列車からお客さま降車訓練及び、避難誘導訓練を実施します。
	水戸地区	8月30日(金) 7:00～12:00	約80人	日立駅において、地震発生に伴い駅舎の一部が倒壊し、負傷者が発生したと想定して、負傷者の救護を実施します。また、消防と協力してお客さまの救出、避難誘導訓練を実施します。
	いわき地区	8月30日(金) 7:00～12:00	約60人	地震発生に伴い、現業機関毎に安否確認、非常参集訓練を実施します。また、原ノ町駅構内において降車避難誘導訓練を実施します。
	水郡線営業所	8月30日(金) 7:00～12:00	約40人	水戸支社管内を震源とする震度6弱の地震が発生し、常陸大子駅のご線橋が一部倒壊して負傷者が多数発生し、また、列車が脱線していると想定して、各種実動訓練を実施します。
千葉	千葉支社管内全般	8月30日(金) 7:00～13:00	約900人	東京湾北部を震源とする最大震度7の地震が発生し、全社員を対象とした安否確認及び非常参集訓練及び支社社員を対象に支社対策本部設置運営、情報伝達訓練を実施します。また、現場から衛星電話等を活用し、情報を伝達する訓練を実施します。
	千葉駅	9月1日(日) 9:30～11:00	約110人	千葉市直下を震源とした大地震発生を想定し、千葉市と連携を図り、負傷者の救助、帰宅困難者への情報提供及び一時滞在施設への誘導訓練を実施します。
	錦糸町駅	9月2日(月) 10:00～12:00	約100人	駅構内の留置線において、乗務員、駅社員、構内店舗社員等によるお客さま降車誘導訓練及び消防による救命・救護訓練を実施します。
仙台	仙台支社管内全般	9月3日(火) 9:00～12:00	約100人	仙台支社管内を震源とする震度6強の地震発生を想定し、初動対応マニュアルに基づいた訓練、支社及び地区対策本部運営訓練、社員及び家族の安否確認訓練並びに非常参集訓練等を実施します。
	新幹線総合車両センター	9月3日(火) 9:00～12:00	約150人	東北新幹線の列車が地震により傾いた電柱と衝突し、負傷者が多数発生したと想定し、警察、消防、社員及びグループ会社社員によるお客さまの降車誘導及び救護訓練を実施します。
盛岡	盛岡支社管内全般	8月30日(金) 7:00～12:00	約490人	岩手山麓を震源とする最大震度6強の地震発生を想定し、社員の非常参集訓練、安否確認訓練、災害対策本部の設置訓練、現車訓練、情報伝達訓練及び支社ビルからの避難訓練等を実施します。
	青森、八戸、盛岡、北上、一ノ関、釜石、大船渡の各地区	8月30日(金) 7:00～12:00	約950人	非常参集、対策本部の設置訓練、駅構内で負傷されたお客さまの救済訓練、仮設救護所設置訓練(北上駅)、消防の協力によるはしご車での消火・救出訓練(八戸駅)及びエレベーターからの救出訓練等を実施します。
秋田	秋田支社管内全般	8月30日(金) 7:00～12:00	約600人	県内陸中央部(首直温泉付近)を震源とする最大震度6強の地震発生を想定し、安否確認訓練、非常参集訓練、初動対応訓練、非常用電源稼働訓練、非常用備蓄食品活用訓練、支社対策本部設置・運営訓練及び情報伝達訓練等を実施します。
	象潟駅	8月30日(金) 9:25～10:00	約50人	秋田県の総合防災訓練(主会場：にかほ市)で、津波を想定し、象潟駅構内において停車した列車からお客さまを避難させる訓練等を実施します。
新潟	新潟支社管内全般	9月2日(月) 7:00～14:00	約300人	新潟支社管内の各地を震源とするM7の地震発生を想定し、支社災害対策本部の設置訓練、非常参集訓練、安否確認訓練、情報収集伝達訓練及び駅間に停車した列車への対応訓練を実施します。
	酒田、直江津、長岡、新潟の各地区	9月2日(月) 7:00～12:00	約200人	各地区対策本部において、非常参集、安否確認訓練を実施します。駅ではお客さま誘導訓練、駅間で停車した列車で負傷者が発生したと想定し、お客さま救済訓練を消防と協力して実施します。また支社対策本部との衛星電話等による情報伝達訓練、映像伝達訓練を実施します。
長野	長野支社管内全般	9月2日(月) 7:00～12:00	約350人	長野支社管内各地で最大震度7の地震発生を想定し、非常参集訓練、限られた要員での支社対策本部設置、情報伝達訓練、安否確認及びエレベーターからの救助訓練等の初動対応に重点を置いた訓練を実施します。
	松本、長野、小海、飯山、上諏訪、信濃大町の各地区	9月2日(月) 7:00～12:00	約250人	情報連絡拠点を設置し、支社対策本部、情報連絡拠点及び被災駅との衛星電話等を使用した情報伝達訓練、非常参集(支社等社員)の被災駅(長野地区)への応援訓練、被災想定駅においてのお客さま避難誘導、救助・救命訓練及び初期消火訓練等を実施します。また、被災現場からの画像伝達訓練を実施します。